

シラバス(授業概要)		年度	2024年度		
		科目コード			
授業科目名		授業形態	学科・コース		
コミュニケーション活動 I		(講義)・(演習)	ファッションビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	1	金田 真哉
授業の目的・目標					
思いやりの気持ちをもって、相手と意思疎通がとれるようになる。コミュニケーションスキルを高め、協調性をもって信頼関係を築けるようになる。					
授業の概要					
グループ活動を通して、コミュニケーションの重要性を理解し、相手と考えや意思を伝え合い、理解し合うことを学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 平常点 (主体的な授業参加度) 2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)				平常点	60%
				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
1~12. オリエンテーション					時間数
13~20. 球技大会など					8
21~37. 校外研修 (東京他)					8
38~51. 外部イベントなど					8
52~60. その他学校イベント					8
					28
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2024年度	
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
情報リテラシー			講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	2	鈴木 栄人	
授業の目的・目標						
<p>自分のパソコンの使用環境を設定する。  Microsoft365 (PowerPoint、Excelなどを社会人として使用できるようになる。  スマホと連携して今後の授業活動に活用できるように知識を吸収する。</p>						
授業の概要						
<p>自分のパソコンに必要となるアプリケーションをインストールし、情報機器を連携させて活用することができるようになる。具体的にはOffice365環境の実装、各アプリケーションの基本的な利用方法を習得する。Zoomを使ったリモート環境が利用できるようになる。OneDrive環境を利用したスマホ⇄PCの連携ができるようになる。社会人としてICT活用を考える。</p>						
授業の目的・目標						
1. 課題 (提出させた課題の完成度と提出率)					課題	50%
2. 平常点 (主体的な授業参加度)					平常点	30%
3. 学習意欲 (授業意欲の有無、授業に取組む姿勢)					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
<p>使用テキスト：なし  教材：自分のパソコン</p>						
授業の概要						
						時間数
1. オリエンテーション、スマホへのアプリ設定						2
2. PCへの各種インストール						2
3. PCとスマホのデータ操作						2
4. Webアプリとデスクトップアプリの違い						2
5. Win11と生成AI(Copilot)について						2
6. ビジネスメールの基礎						2
7. Wordでビジネス文書の基礎						2
8. PowerPointの基礎知識						2
9. PowerPointでの画像操作						2
10. PowerPointでコラージュ						2
11. Excelの基本操作						2
12. Excelでグラフ作成						2
13. ExcelとPowerPointとの連携						2
14. ExcelとPowerPointでプレゼン2						2
15. 課題						2
その他				関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度	2024年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ファッションビジネス論			講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	1	金田 真哉	
<b>授業の目的・目標</b>						
単に衣服を生産し販売するというだけではなく、環境問題もふまえた人々のあり方を考え、服や着こなしに対する消費者のニーズを察知し、新しい考え方や技術に基づいて商品をつくり、効果的な方法で消費者に提案・購入・満足してもらうためのビジネスである事を理解する。						
<b>授業の概要</b>						
ファッション業界で勤める上で必要な土台となる流通のしくみが理解でき、将来希望する職種で必要とする専門的な知識・技術を学びそれらを駆使して就職活動や仕事に活かす事ができる。ファッションビジネス能力検定3級取得を目指す。						
<b>成績評価の方法</b>						
1. 平常点 (主体的授業参加度) 2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢) 3. 検定取得 これらの要件で総合的に評価する。					平常点	30%
					課題	20%
					検定試験	50%
<b>使用テキスト・教材</b>						
ファッションビジネス I ファッションビジネス用語辞典 WWD JAPAN 他資料配布						
<b>授業内容・授業計画</b>						
						時間数
1. ファッションビジネスの概要 (定義と特性)						2
2. 繊維ファッション産業の流れ (企画～製造～販売まで)						2
3. ファッション消費と消費者行動 (消費者意識と行動、消費者のファッション表現)						2
4. ライフスタイルとファッション (ライフスタイルとは? TPO シーズンサイクル)						2
5. お客様の購買行動 (お客様・顧客 購買行動 購買心理のプロセス)						2
6. アパレル産業と小売産業						2
7. アパレル産業とは? (アパレルメーカー、デザイナーブランドビジネス インポート)						2
8. アパレルビジネス、ジャパン社、ライセンスビジネス)						2
9. 小売企業とは? (百貨店、量販店、専門店、チェーンストア、無店舗販売)						2
10. 筆記試験 (1～8 振返り)						2
11. ファッション企業のマーケティング						2
12. ファッションマーチャンダイジング						2
13. ファッション流通 (流通とは? アパレルメーカーと小売企業の取引条件)						2
14. ファッション造形知識						2
15. ファッションビジネス能力検定3級対策 (過去問題)						2
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>			
※単元ごと演習課題を実施する。			各専門科目全般			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態		学科・コース
モード史			(講義)・演習		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	金原 陽子
授業の目的・目標					
その時々々の社会環境や生活者の思いが表現される『服』というツール。海外発モードの影響を受けていた時代から日本発のモードがグローバル化する過程を紐解きながら、過去を知り、先を予見する。スタイリング提案に活かす。					
授業の概要					
『衣服』が社会構造、人々の志向などが反映していることを意識して、各時代ごとの資料プリントと教科書で、服飾文化の変遷を辿る。					
成績評価の方法					
試験、課題、学習姿勢を総合的に評価する。				期末試験	40%
				課題	40%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
西洋服装史（文化服装学院編）ファッションクロニクル（講談社エディトリアル） 資料プリント					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	シラバスの説明	西洋服装史①			2
2.	西洋服装史②			2	
3.	西洋服装史③			2	
4.	日本モード史（1940～1950年代）			2	
5.	日本モード史（1960年代）			2	
6.	日本モード史（1970年代）			2	
7.	日本モード史（1980年代）			2	
8.	日本モード史（1980年代）			2	
9.	日本モード史（1990年代）			2	
10.	日本モード史（1990年代）			2	
11.	日本モード史（2000年代）			2	
12.	日本モード史（2000年代）			2	
13.	日本モード史（2010年代～）			2	
14.	日本モード史（2010年代～）			2	
15.	日本モード史まとめ			2	
その他				関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2024年度	
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
マーケティングリサーチ			講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	土屋 香美	
授業の目的・目標						
<p>感性マーケティング・・・共感するセンスを磨く (入門編)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商品やサービスの目的を理解し、マーケティング・提供価値を構築する考え方を養う。</li> <li>取り巻く環境、市場(企業)の動き、生活者の意識の変化からニーズ・課題に気づく力を養う。</li> <li>新しい価値の提案を描く。</li> </ul>						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> <li>実際の店舗ビジネス、顧客目線での新しい商品・サービス提供価値提案を考える。</li> <li>応援したい店舗へのヒアリング・リサーチを通して、顧客ニーズ・課題を理解・分析して、商品・サービスの企画を考える。</li> <li>この授業の総括として「店舗応援提案」ビジュアルシートを作成、発表する。</li> <li>この授業でのグループ活動、学校外の方々との対話を通して、聞く・話す力を含めたコミュニケーション能力と分析・発想する力を含めた企画遂行能力を養う。</li> </ul>						
成績評価の方法						
1. 平常点(主体的授業参加度) 2. 気づく力(授業内容からの自分の気づき・発見) 3. ワークの積極性(学習意欲、授業に取り組む姿勢) 3. ワーク完成度(展開力・プレゼン力を含む) これらの要件で総合的に評価する。					平常点	50%
					気づく力	16.6%
					ワークの積極性	16.6%
					ワーク完成度	16.6%
使用テキスト・教材						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. 目的を明確にする(応援したいショップの目的を明確にする)						2
2. 社会・市場環境変化とユーザーの暮らしを考える						4
3. 応援したいショップの状況把握、応援内容の仮説を考える						4
4. ショップヒアリングの内容を考える						4
5. ショップヒアリング実施						4
6. ショップヒアリングから得た情報の分析、応援内容を再検討						4
7. 応援企画を考え、「ショップ応援提案ビジュアルシート」を作成する 前田						4
8. 発表						4
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態		学科・コース
ECビジネス I			講義・演習		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	野村 佳祐
授業の目的・目標					
ECビジネスの基礎、現状を知り アパレル業界で必須の「EC販売」に向けて学ぶ					
授業の概要					
現状のECビジネスの現状を学ぶ。 実習にて、「通販」の詳細を知ってもらう 基礎、知識を活かして実践練習の反復					
成績評価の方法					
①ECビジネスの最低限の理解、表現ができる ②得意不得意はあると思うので、わからないをちゃんとと言える、できる人はわからない人を教える。 ③人間性の部分(話の聞き方、意見をちゃんとと言える、言葉使い)				平常点	25%
				課題	50%
				チームワーク	25%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 生徒さんそれぞれの、好きな通販サイト					2
2. ECビジネス(通販)とは何か?今までとこれからの通販、某ECサイトの現状、詳細					2
3. 自分の「好き」をECサイト(仮)に向けての実習①					4
4. 自分の「好き」をECサイト(仮)に向けての発表②					2
5. チームでECサイト(仮)に向けての実習①(チームになってワーク)					6
6. チームでECサイト(仮)に向けての発表①					2
7. 自分の「好き」をECサイト(仮)に向けての実習②					4
8. 自分の「好き」をECサイト(仮)に向けての発表②					2
9. 自分の「好き」をECサイト(仮)に向けての実習③					4
10. 自分の「好き」をECサイト(仮)に向けての発表③					2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度	2024年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
デジタルマーケティング I			(講義)・(演習)		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	寺田 貴詞	
授業の目的・目標						
デジタルメディアを理解し、セルフプロモーション力を習得する。						
授業の概要						
マーケティングの基礎を理解する SNSを活用する上での注意点を理解する SNS上でのセルフプロデュースの強化と実演						
成績評価の方法						
課題提出、最終発表、授業態度を総合的に評価する					最終発表	40%
					課題	40%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
必要に応じて資料配布						
授業内容・授業計画						
						時間数
1.	オリエンテーション (学習目標の共有・各種ツールの設定等)					2
2.	マーケティングの基礎編(マーケティングとは/デジタルマーケティングとは)					4
3.						
4.	消費者行動の変化 (社会の変革) とSNSの役割					4
5.						
6.	SNS炎上と企業が受けるダメージと対策、謝罪					2
7.	デジタルタトゥーと個人情報の保護					2
8.	マーケティングの応用編の入り口					
9.	トリプルメディアマーケティングの考え方					4
10.	セルフプロデュースの必要性・自己分析と他者分析					
11.	なりたい自分像を明確にし、アウトプット力を身につける					4
12.	ショート動画の特徴(SNSにおけるアルゴリズム)と制作方法					2
13.	セルフプロデュースを目的としたショート動画制作					4
14.						
15.	写真(動画)でアウトプット・発表					2
その他			関連科目			
※適宜、課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
デザインアプリケーション I		(講義)・(演習)		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	野村 佳祐
授業の目的・目標					
販促物、SNSを作る上で illustration、Photoshopの基礎中の基礎を理解し使えるようになる。					
授業の概要					
デザインアプリ illustration、Photoshopの基礎を順を追って説明、実習の反復。					
成績評価の方法					
①デザインアプリケーション最低限の理解、表現ができる ②得意不得意はあると思うので、わからないをちゃんとと言える、できる人はわからない人を教えられる。 ③人間性の部分(話の聞き方、意見をちゃんとと言える、言葉使い)				平常点	50%
				学習意欲	50%
				チームワーク	0%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. デザインアプリイラストレーションの説明、基礎操作①					4
2. デザインアプリイラストレーションの基礎操作②					4
3. デザインアプリイラストレーションの基礎操作①②を活かした実習(個人ワーク)					4
4. デザインアプリフォトショップの説明、基礎操作①					4
5. デザインアプリフォトショップの基礎操作②					4
6. デザインアプリフォトショップの基礎操作①②を活かした実習(個人ワーク)					4
7. デザインアプリ、イラレ & フォトショップを合わせた実習 (ポートフォリオの作成)					6
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					



シラバス(授業概要)			年度	2024年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
マーチャンダイジング			(講義)・(演習)		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	60	1	大方 和則	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>●MDの基本である5適を店舗企画の流れに沿って実践的に身につける。</li> <li>●バイイングを通して企業研究をすすめ、就職活動やキャリアプランを持つことができる。</li> <li>●ESG経営を学ぶことで社会貢献意識を持つことができる。</li> <li>●DXの事例を学ぶことでそのスキルとともに「ヒト」の重要性を再認識することができる。</li> </ul>						
授業の概要						
<p>アパレルショップのMD企画、販売、計数管理までの一連の流れをマーケティング流れの中ですすめていく。単に売上や利益を求めるだけでなく、利益をどのように社会に還元していくか、環境にどう向き合うか、そのビジネスをどう継続していくか、というSEGの観点でMD企画をすすめる。</p>						
成績評価の方法						
企画書の提出率・完成度 70%					課題	70%
平常点 30%(出席・受講態度)					平常点	30%
使用テキスト・教材						
FB3級 FA3級 販売士2級テキストをベースに進めるが必須ではない。						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. ファッション業界の現状 MDの業務、役割について						4
2. 現状分析(マクロ、ミクロ) 価値の創出 仮説 データ検証						4
3. STP分析						4
4. 立地戦略 スタイリング						4
5. バイイング①						4
6. バイイング②						4
7. バイイング③						4
8. バイイング④						4
9. SPA企画①						4
10. SPA企画②						4
11. 52週MD						4
12. EC、バーチャルショップ・メタバース・ライブコマースについて						4
13. 3か年予算計画						4
14. 初年度月別予算計画						4
15. 総論						4
その他					関連科目	
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態		学科・コース
VMD			講義・演習		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	繁田 和美
授業の目的・目標					
店舗、売り場づくりの基本である【商品陳列】から【演出】についての一般的な知識と技術の習得。ブランドコンセプトや商品特性に基づく演出や陳列を学び、VMDを活かした店舗設計やゾーニングができる。					
授業の概要					
VMDは店のメッセージやブランド価値を伝え、お客様視点に基づく店づくり方法である。店舗設計において、商品の展示陳列まで計画するVMDは欠かせない技術です。VMDの基礎知識を学び、実習を通してヴィジュアルプレゼンテーションのスキルを習得する。					
成績評価の方法					
課題（提出された課題の完成度）。平常点（主体的な授業参加度）学習意欲（学習意欲の有無、取組む姿勢） 総合的に評価するが、課題・最終課題を未提出の場合は成績評価が行われない。				課題	40%
				平常点	40%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ビジュアル版VMD新テキスト」（テキスト）</li> <li>・その他資料等配布</li> <li>・実習時はトルソー、マネキン、衣類、演出物等使用</li> </ul>					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. VMDの概要/商品分類、VMD分類、陳列技術					2
2. 陳列技術（IP）の基礎、定数定量					2
3. 陳列技術の応用					2
4. 演出技術(VP・PP)の基礎					2
5. 演出技術の応用 VMDまとめ					2
6. 店舗の見方、リサーチ方法、ゾーニング					2
7. 店舗リサーチ(フィールドワーク)					2
8. ディスプレイプランニング/実習					2
9. 準備&製作/実習					2
10. 準備&製作/実習					2
11. 準備&製作/実習					2
12. インスタレーション/実習					2
13. インスタレーション/実習					2
14. インスタレーション/実習					2
15. 講評&まとめ					2
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度	2024年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ファッショントレンド I			講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	1	相川 克彦	
<b>授業の目的・目標</b>						
世界のファッションシーン全体の動向を俯瞰して理解し、プロの業界人として知っておくべき基礎知識を修得する						
<b>授業の概要</b>						
国内外のファッションの重要な最新ニュースを映像を活用しながら解説し、ファッションビジネス&デザイン両面からトレンドを理解する						
<b>成績評価の方法</b>						
授業の出席率、および学習意欲を総合的に評価					出席率	60%
					学習意欲	40%
<b>使用テキスト・教材</b>						
ファッション週刊紙「WWDJAPAN」 「WWDJAPAN Digital」 (INFASパブリケーションズ)						
<b>授業内容・授業計画</b>						
						時間数
1. 世界のファッションシーンは今どう動いているのか？時代の流れ、業界を俯瞰する						2
2. 2024-25年秋冬ニューヨーク、ロンドン・コレクションの注目ブランド・トレンド解説						2
3. 2024-25年秋冬ミラノ・コレクションの注目ブランド・トレンド解説						2
4. 2024-25年秋冬パリ・コレクションの注目ブランド・トレンド解説						2
5. パリ・オートクチュールの魅力は？最高峰の服作りの神髄を追う						2
6. 重要キーワード、サステナビリティに対してファッションができることは？						2
7. 決算から読み解く好調ファッション企業の見分け方						2
8. DXはファッションビジネスをどう変えるのか？						2
9. 日本の有力ファッション企業トップが語る2024年の戦略						2
10. 2025年春夏メンズ・コレクションの注目トレンド解説						2
11. 今本当に売れているものは何か？リアルトレンドを探る						2
12. プルミエールビジョンから占う2025年の素材・色のトレンド						2
13. 次世代のファッション業界人に求められる資質とは？						2
14. ファッションビジネス&デザインに影響を与えるヒト・モノ・カルチャー						2
15. 2024年のファッション業界を総括し、新時代を展望する						2
<b>その他</b>				<b>関連科目</b>		
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度	2024年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
アパレル素材論 I			(講義)・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	1	金原 陽子	
<b>授業の目的・目標</b>						
素材の知識を得て、説得力のあるセールストークが出来る販売員になる。						
<b>授業の概要</b>						
素材の基礎知識を学び、応用編では、接客コンテストに活かせる、具体的なアイテムを用いて素材感の表現、購入後の管理の仕方などを学ぶ。						
<b>成績評価の方法</b>						
提出物、確認テスト、受講態度など総合的に評価する。					期末試験	40%
					課題	40%
					学習意欲	20%
<b>使用テキスト・教材</b>						
アパレル素材論 (文化服装学院編) 表生地標本集 (文化服装学院編)						
<b>授業内容・授業計画</b>						
						時間数
1.	シラバスの説明	繊維から糸・布地へ	アイテムシートの説明			2
2.	天然繊維について		アイテムシート①製作			2
3.	化学繊維について		アイテムシート②製作			2
4.	織物について①		アイテムシート③製作			2
5.	編物について②		アイテムシート④製作			2
6.	カットソー素材		アイテムシート⑤製作			2
7.	衣服の管理①					2
8.	衣服管理②					2
9.	柄について					2
10.	染色について					2
11.	選んだアイテムについてのセールストーク①					2
12.	選んだアイテムについてのセールストーク②					2
13.	選んだアイテムについてのセールストーク③					2
14.	サステイナブル素材について					2
15.	まとめ					2
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>			
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度	2024年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
商品企画 I			講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	大方 和則	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>●アパレル生産地として国内有数産地の歴史を知る。</li> <li>●OEMの業務を学びメーカーや営業職への就職活動をスムーズに行うことができる。</li> <li>●ビジネスによって「伝統」「理念」「社会性」を訴求することができる。</li> </ul>						
授業の概要						
アパレル生産企業と提携しOEMによって生産、販売を行う。就職後の実務を意識した流れでPB生産を行うことでMDの実践力を養う。販売では静岡のアパレル生産の技法や伝統をいかに伝えるかを意識し、グローバルからローカライズへ、といったファッションビジネスの潮流を理解する。						
成績評価の方法						
企画書の完成度 70% 平常点 30%(課題、出席含む) テストは行わない					課題	70%
					平常点	30%
使用テキスト・教材						
使用しない						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. ファッション業界の現状						2
2. OEMについて						2
3. マーケティングリサーチ						2
4. コンセプト・パーパスの設定						2
5. 商品企画①						2
6. 商品企画②						2
7. 商品企画③						2
8. 商品企画④						2
9. 商品企画⑤						2
10. 商品企画⑥						2
11. 販売戦略 接客分野						2
12. 販売戦略 VMD分野						2
13. 販売戦略 デジタル分野						2
14. 予算管理						2
15. 総論						2
その他					関連科目	
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
カジュアルアイテム		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	斎藤 一輝
授業の目的・目標					
物の本質を見抜き、全体を把握することができるようになる。また、継続することにより描写力の向上が期待できる。					
授業の概要					
アパレル商品が豊富に流通する今日、その市場動向を決定しているのはファッションに自己の個性・時代を投影し表現しようとする「成熟した消費者」である。この「成熟した消費者」とメーカーを有機的に結びつけることのできる専門知識を習得。					
成績評価の方法					
1. 平常点 (主体的授業参加度) 2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢) 3. 実技・筆記試験 これらの要件で総合的に評価する。				平常点	30%
				課題	30%
				実技・筆記試験	40%
使用テキスト・教材					
資料配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	1.	アパレル商品の基礎知識 (各部の名称、ディテール・歴史) 婦人服編			2
2.	①	シャツ・ブラウス②スカート・パンツ③ワンピースドレス④ジャケット・スーツ			2
3.	⑤	コート			2
4.	2.	アパレル商品の基礎知識 (各部の名称、ディテール・歴史) 紳士服編			2
5.	①	ビジネスウエア②シャツ・ネクタイ③コート			2
6.	3.	アパレル商品の基礎知識 (各部の名称、ディテール・歴史) ジーンズ編			2
7.	①	ジーンズウエアの素材②シルエット③構造とディテール④オーバーオール			2
8.	⑤	ジージャン⑥サイズと選び方			2
9.	4.	アパレル商品の基礎知識 (各部の名称、ディテール・歴史) スポーツウエア編			2
10.	5.	アパレル商品の基礎知識 (各部の名称、ディテール・歴史) ユニフォーム編			2
11.	6.	アパレル商品の基礎知識 (各部の名称、ディテール・歴史) フォーマルウエア編			2
12.		プレゼン準備			2
13.		プレゼン準備			2
14~15		テスト・プレゼン			4
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			接客技術Ⅰ ファッションコーディネート		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
				科目コード	
授業科目名				授業形態	学科・コース
色彩学				講義	ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	60	1	小長谷 由紀子
授業の目的・目標					
ファッションビジネスに関連する仕事を遂行する上で必要とされる色彩の基礎や配色、イメージにあったカラーコーディネート習得し、色彩検定3級合格を目指します。					
授業の概要					
上述の内容に沿って下記のとおり細目を設け、テーマ毎に確認テストを実施します。配色カードを使った演習を取り入れ、色感を磨きながら、6月に実施される色彩検定3級の対策として過去問題を繰り返し行います。					
成績評価の方法					
色彩検定3級の合否結果、過去問題の点数、学習意欲(欠席・遅刻日数や授業態度等)を総合評価したうえで決定します。				期末試験	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
色彩検定3級テキスト 過去問題 配色カード のり はさみ					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	色のはたらき				2
2.	光と色				4
3.	色の表示				4
4.	色の三属性				2
5.	PCCS				2
6.	色名				2
7.	色彩心理				4
8.	色彩調和				2
9.	色相配色				2
10.	トーン 配色				2
11.	色彩効果				4
12.	色彩と生活				2
13.	ファッション				4
14.	インテリア				4
15.	過去問題				20
その他				関連科目	
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2024年度	
				科目コード		
授業科目名			授業形態	学科・コース		
パーソナルカラー I			講義	ファッションビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	小長谷 由紀子	
授業の目的・目標						
<p>ファッションビジネス業界におけるカラーコーディネートの重要性・関連性に基づき、パーソナルカラーの知識を身につけ、自分ブランディングからお客様にアドバイスできる力を習得します。パーソナルカラー検定モジュール1（初級レベル）合格を目指します。</p>						
授業の概要						
<p>上述の内容に沿って細目を設け、テーマ毎に確認テストを行います。配色カードやドレープ等を使った演習を取り入れ、実践力も身につけます。過去問題を繰り返し解くことで出題傾向をつかみ、苦手な問題も克服します。</p>						
成績評価の方法						
<p>パーソナルカラー検定の可否結果、過去問題の点数、学習意欲（欠席・遅刻日数や授業態度等）を総合評価したうえで決定します。</p>					期末試験	50%
					課題	50%
使用テキスト・教材						
<p>色彩技能パーソナルカラー検定® 公式テキストモジュール1 配色カード のり はさみ</p>						
授業内容・授業計画						
						時間数
1. パーソナルカラーとは						2
2. 色が見える条件と感情効果						2
3. 色のしくみ						2
4. 基本の配色方法						2
5. 色彩調和論						2
6. フォーシーズン						4
7. パーソナルカラリストの診断						2
8. 自分のパーソナルカラー						2
9. コーディネート術						2
10. カラーテクニック						2
11. 過去問題						8
その他				関連科目		
<p>※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。</p>						



シラバス(授業概要)		年度			
		2024年度			
		時間数は45分換算			
		科目コード			
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニケーション技法		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	川松 夕見子
<ul style="list-style-type: none"> <li>人の話を聞くこと、人と話をするに慣れ、相手と意思の疎通を図るための会話のキャッチボールができること。聞く人にわかりやすく伝わりやすい話し方の習得。</li> <li>仕事現場を想定した言葉遣いや報連相、ディスカッション、プレゼンテーション等の手法を知り、就職活動や他授業も含めた発表の場で活用できること。</li> </ul>					
<b>授業の概要</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>販売技術や接客マナーを習得する上で前提となる、「コミュニケーション」の重要性や基本的な考え方を学び、新しく出会う人達との信頼関係を築くためのスキルを実践する。</li> <li>ビジネスシーンに求められるプレゼンテーションや就職活動も視野に入れた表現スキルを、具体的にシミュレーションしながら習得する。</li> </ul>					
<b>成績評価の方法</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>フィードバックシートの提出</li> <li>グループワークの取組姿勢</li> <li>課題発表</li> </ul>				課題	40%
				平常点	30%
				学習意欲	30%
<b>使用テキスト・教材</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>スライドデータまたはプリント配布</li> </ul>					
<b>授業内容・授業計画</b>					
					時間数
1. 授業オリエン、「コミュニケーション」とは、ウォーミングアップワーク					2
2. ラポールスキル					2
3. インタビューワーク①準備(質問スキル)					2
4. インタビューワーク②実施					2
5. プレゼンワーク①スライド作成					2
6. プレゼンワーク②提案相手への発表					2
7. ビジネスプレゼンの目的と構成					2
8. ビジネスプレゼン実践課題①パワポブラッシュアップ					4
9. ビジネスプレゼン実践課題②プレゼンリハーサル					4
10. 就活対策スキル①企業研究・時事問題・ガイダンス対策					4
11. 就活対策スキル②面接・グループディスカッション					4
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度	2024年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
セルフプロデュース			(講義)・(演習)		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	桜井 貴斗	
<b>授業の目的・目標</b>						
ブランディング・マーケティングを学ぶことで自分たちのファッション・ブランドのより良い見せ方・伝え方を知ることができる。その結果、消費者・生活者（ブランドを買ってくれる人）に自分の魅力を伝えることができるようになることを目指す。						
<b>授業の概要</b>						
①様々な事例を通してブランディングとは何か？を理解する ②自分のセルフプロデュース力を磨く						
<b>成績評価の方法</b>						
・課題提出（ブランドに関する課題） 50%				最終発表	40%	
・学習意欲（授業に取り組む姿勢） 50%				課題	30%	
				学習意欲	30%	
<b>使用テキスト・教材</b>						
必要に応じて資料配布						
<b>授業内容・授業計画</b>						
						時間数
1. オリエンテーション（自己紹介・学習目標の共有など）						2
2. ブランディングとは						2
3. ブランディングとは						2
4. ブランディング・マーケティングの事例						2
5. 身近な事例でブランディング・マーケティングを考えよう（ワークショップ）						4
6.						
7. 市場分析と自分の強みの整理						2
8. ターゲットペルソナの整理						2
9. マーケティング手法（情報の届け方）						2
10. ブランディング・マーケティング視点で自分の強みを考えよう（ワークショップ）						4
11.						
12. ワークショップのチーム・個別フィードバック						2
13. これまでの振り返り&桜井セルフブランディング&会社事例						4
14. ※必要に応じてゲスト参加						
15. 自分の強みを考えよう（最終アウトプット）						2
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>			
※適宜、課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
接客技術 I		演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	90	3	澤田 恭子 齊藤 亜実
授業の目的・目標					
接客の基礎知識・技術の習得 コミュニケーション能力と会話力の向上によるバランスの取れた人材育成					
授業の概要					
実践トレーニングによる基礎項目の完全習得 セルフプロデュース力を兼ね揃えたコミュニケーション能力の向上					
成績評価の方法					
1. 課題 (レポートの内容・完成度) 2. 学習意欲 (授業に取り組む姿勢) 3. 実技テスト (ロールプレイング) これらの要件で総合的に評価する				課題	35%
				学習意欲	30%
				実技テスト	35%
使用テキスト・教材					
資料配布 ロールプレイング映像資料					
授業内容・授業計画					
1 授業概要説明、業界の現状・接客業の必要性、コミュニケーションディスカッション					時間数
2~5 接客基礎 I ①言葉遣い (ビジネス用語・接客 8 大用語)					2
②コミュニケーションの重要性、会話力 (雑談)					8
③基本動作 (姿勢・お辞儀)、パーソナルスペース					
④購買心理					
6~10 接客基礎 II ①オールグラウンドプレイヤー、セルフプロデュース					10
②観察力 ③基本所作 (動的待機・立ち居振る舞い)					
④セールスポイントの提案 ⑤会話力 (雑談)					
11~18 実技練習 ① 基本接客 (動的待機・購買心理別アプローチ・会話)					16
19~26 実技練習 ② 感情接客 I (ニーズ確認・5W1H・聞き取り)					16
27~36 実技練習 ③ 感情接客 II (共感・抑揚、コミュニケーション、雑談)					20
37~42 実技練習 ④ 応用接客 (目的別パターン)					12
43~45 ロールプレイングテスト					6
※学内ロールプレイングコンテスト開催					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース
ファッションコーディネーター			講義・演習		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	金田 真哉
授業の目的・目標					
ファッションコーディネーターをする上で必要な、アイテム知識、トレンド知識、色・素材・柄・感覚に視点を置いた論理的なコーディネーターの基本を学び自身の表現手法の幅を広げる。2年次の対お客様や芸術的なコーディネーター提案へとつなげていく。					
授業の概要					
ファッションコーディネーターの基礎知識・技術を習得し、シルエット、ディテール、色・柄、素材などが異なる複数の服や服飾雑貨を、バランスよく組み合わせ、統一したイメージをつくりあげる事ができる。					
成績評価の方法					
1. 平常点 (主体的授業参加度)				平常点	30%
2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)				課題	30%
3. 実技試験				実技試験	40%
これらの要件で総合的に評価する。					
使用テキスト・教材					
ファッションクロニクル (講談社エディトリアル) WWD JAPAN 他資料配布					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 2024S/Sトレンド解説 (4つのキーワード)					2
2. ファッションアイテム知識 アパレル分類の理解					1
3. スタイリングイメージ分類 (マップ制作&実技)					1
4. ①クラシック ②フェミニン ③アバンギャルド ④モード ⑤ストリート					1
5. 基本シルエット分類、シルエットの組み方 (マップ制作&実技)					1
6. 2024S/Sトレンドスタイリング実践 (5つのキーワード) (実技)					1
7. 2024S/S セルフプロデュース企画概要 (スタイリング企画書制作)					1
8. ①既存のブランドを選定②イメージに沿ったスタイリング構築 (ヘアメイク&洋服)					1
9. 企画プレゼン→ロケハン→撮影					1
10. 2024A/W 7days ワードローブ企画概要 (A4ファイルにてポートフォリオ制作)					1
11. ①テーマ ②コンセプト ③衣装 ④ロケーションの設定					1
12. 手持ち衣装を基礎にした構成、着用計画の作成。					1
13~15 最終回にプレゼンを実施。					1
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			接客技術Ⅰ ヘアメイク基礎		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)		年度	2024年度		
		科目コード			
授業科目名		授業形態	学科・コース		
ヘアメイク基礎		講義・演習	ファッションビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	前田 紗侑里
授業の目的・目標					
ヘアメイクの知識、基礎な技術を学び、ファッションに合うヘアメイクで自己表現の可能性を広げる。					
授業の概要					
ヘアメイクの基本となるアイテムや手順を学びセルフメイクを中心にフルメイクを習得。同時にヘアの道具をSiriヘアの基本となるゴムの縛り方、ピン打ちブレイズなどのアレンジを習得。					
成績評価の方法					
・出席状況    ・授業意欲    ・課題提出				出欠席	30%
				課題	40%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
配布資料・ヘアメイク道具一式、パソコン					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. シラバス説明・ヘアメイクの道具の説明					2
2. ベースメイク (セルフメイク)					2
3. ベースメイク・アイブロー・チーク (半顔セルフ・半顔相モデル)					2
4. アイメイク・リップ (半顔セルフ・半顔相モデル)					2
5. ヘアアイロン、コテの実践					2
6. ピン・ブレイズ・束ねる実技					2
7. ガールズコレクションとファッションウィークのヘアメイクの違い					2
8. ファッションウィークのヘアメイク					2
9. 自己プロデュースでヘアメイクを考える (ファッションを含め)					2
10. イメージボード・マインドマップ作成・ヘアメイクイメージ					2
11. 自己プロデュースのヘアメイクを実際に作る (セルフ)					2
12. スマホを使い撮影					2
13. 前回のヘアメイクのブラッシュアップ (セルフ) (決めていたファッションも着てくる)					2
14. 撮影 (予定)					2
15. 自己プロデュース発表					2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)		年度	2024年度		
		科目コード			
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ショップマネジメント I		講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	松本 眞由美
授業の目的・目標					
売り場責任者として、売上・仕入・在庫・利益等の計数管理ができる					
授業の概要					
店舗運営に必要な売上・仕入と在庫、利益等、計数管理に関する基本知識を計算演習により習得する					
成績評価の方法					
学習意欲(授業態度)、課題提出、最終試験で評価する				学習意欲	5%
				課題	5%
				最終試験	90%
使用テキスト・教材					
やさしくわかる「お店の数字」 著書：山田 公一 価格：1,540 出版社：日本実業出版社 ISBN-10: 4534050437 ISBN-13: 978-4534050434 発売日：2013/2/15					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	オリエンテーション(利益) 特実 I	2	11.	粗利ミックス	2
2.	オリエンテーション(販売) 特実 I	2	12.	売上利益シミュレーション	2
3.	オリエンテーション(出店) 特実 I	2	13.	損益分岐点と目標利益達成点	2
4.	売上高の構成要素	2	14.	環境変化と売上予測	2
5.	比率の計算	2	15.	商品の効率・売場の効率	2
6.	売れ筋把握(ABC分析)	2	16.	スタッフの働き評価	2
7.	損益計算書の基本と事例	2	17.	総復習	
8.	仕入・在庫と売上原価	2	18.	最終試験	
9.	利益の仕組み(値入と粗利)	2			
10.	値引きと売上高・利益	2			
11.	損益分岐点と目標達成点の求め方	2			
12.	商品の効率・売場の効率	2			
13.	スタッフの働き評価	2			
14.	総復習	2			
15.	最終回テスト	2			
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度	2024年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ビジネスプランニング I			講義・演習		ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	川松 夕見子	
<b>授業の目的・目標</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「問題意識」をベースにした課題発見力を身につける。</li> <li>・企画に不可欠な要素とそれを組み立てる方法を理解する。</li> <li>・ベーシックな企画書の書き方（構成と表現手法）がわかる。</li> <li>・2年次の「ビジネスプランニングⅡ」に向けてのヒントを得る。</li> </ul>						
<b>授業の概要</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画を立てる上での基本となる考え方やアプローチの仕方を学ぶ。様々な仕事場面で求められる企画作業に必要な要素として、発想力、構成力、表現力という3つの側面から学習し、企画を組み立てるプロセスとその全体像を理解できるようにする。</li> <li>・最終的に、マーケティングリサーチで取り組むショップ応援企画を題材に、グループでプロモーション企画書にまとめる。</li> </ul>						
<b>成績評価の方法</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時のワークシート提出</li> <li>・グループワーク取組み（リーダーシップ、協力姿勢、積極性等）</li> <li>・プレゼンテーション（企画発表の内容と表現）</li> </ul>					課題	40%
					平常点	30%
					学習意欲	30%
<b>使用テキスト・教材</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時のワークシート提出</li> <li>・グループワーク取組み（リーダーシップ、協力姿勢、積極性等）</li> <li>・プレゼンテーション（企画発表の内容と表現）</li> </ul>						
<b>授業内容・授業計画</b>						
						時間数
1. 授業オリエン、「ショップ応援企画」概要、チーム分け						2
2. ショップ選定、ショップ基本情報、現地確認（協力依頼）						4
3. 「マーケティングリサーチ」からの仮説修正と企画書構成						4
4. コンセプトワーク、企画書まとめ						4
5. ショップへの企画提案、実施プラン検討						4
6. プロモーションツール作成と実施						4
7. プロモーション効果確認、報告書まとめ						4
8. プロモーション報告プレゼン（発表&講評）						4
9. プロモーション実施						2
10. プロモーション効果確認						2
11. プロモーション実施報告書作成						4
12. プロモーション報告プレゼン（発表&講評）						4
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>			
※単元ごと演習課題を実施する。			マーケティングリサーチ			
※実務経験のある教員が担当する科目である。			コミュニケーション技法			

シラバス(授業概要)				年度	2024年度
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態	学科・コース	
キャリアプラン I			講義	ファッションビジネス科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	2	佐々木 史
授業の目的・目標					
1. 次年度の就職活動に向けて、自分の特性を客観的に把握しキャリアプランを立てる。 2. 就職活動の流れを理解して、活動の準備をする。 3. ファッション業界の企業の選考方法を把握して、それぞれの選考に備える。					
授業の概要					
1. 自分のキャリアプランに基づいた就職目標を明確にして就職活動をスタートする。 2. ファッション系企業の選考方法への対応力を身につけ、内定確率を向上する。					
成績評価の方法					
1. 平常点（主体的授業参加度）、 2. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢） これらの要件で総合的に評価する。				平常点	60%
				課題	40%
使用テキスト・教材					
「織研新聞」「日経流通新聞」他（資料配布）					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. ファッション系企業の求人票の見方と選考スケジュール					2
2. 一般常識模擬試験					2
3. ファッション系企業の選考試験の種類と内容					2
4. 自己分析 1					2
5. 自己分析 2					2
6. キャリアプランを立てる					2
7. 作文の書き方					2
8. エントリーシート・履歴書の書き方					2
9. エントリーシート・履歴書の書き方					2
10. 就職サイトの活用					2
11. 応募書類の送り方と手紙の書き方					2
12. 面接の種類と対応 1					2
13. 面接の種類と対応 2					2
14. 就職活動の身だしなみ					2
15. ガイダンスの参加のポイントと全体の総括					2
その他				関連科目	
※单元ごとと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					



シラバス(授業概要)				年度	
				2024年度	
				科目コード	
時間数は45分換算					
授業科目名			授業形態		学科・コース
産学連携プロジェクトI			演習		ファッションビジネス科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	金田 真哉 瀬田 新介
授業の目的・目標					
外部企業、社会との連携を図り実体験を重ねていくことを目的とする。					
授業の概要					
授業内で習得した知識や技術を、学校外部での実体験を通じ、自身の視野や価値観を拡大し自信につなげ就職活動に活用していく。					
成績評価の方法					
課題（企画書）				課題	40%
平常点（主体的な授業参加度）				平常点	30%
学習意欲（学習意欲の有無、取組む姿勢）				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
産官学連携、SDGSやサステナブルを踏まえた企画アイテムの寄付などを通じ社会貢献のありかたを学ぶ。					時間数 30
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)		年度	2024年度		
		科目コード			
授業科目名		授業形態	学科・コース		
ファッションビジネス特別実習 I		演習	ファッションビジネス科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	松本 眞由美 萩原 和幸 金田 真哉
授業の目的・目標					
①計数管理能力を高める集中講義 ②作品撮影 ③外部イベントへの取り組み を通じ業界関連職種の理解度を高めることを目的とする。					
授業の概要					
①計数管理特別講座 全3コマ ②作品撮影 全4コマ ③外部イベント 8コマ					
成績評価の方法					
出席、授業態度、意欲など総合して判断する。			平常点	30%	
			学習意欲	30%	
			課題	40%	
使用テキスト・教材					
平常点 (主体的な授業参加度) 学習意欲 (学習意欲の有無、取組む姿勢) 課題 (作品)					
授業内容・授業計画					
1. 計数管理特別講座					時間数 6
2. 作品撮影					8
3. 外部イベント					16
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。			ショップマネジメント		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			ファッションコーディネート ヘアメイク基礎		